

伊能忠敬に学ぶこと

皆さんの夢は何ですか？

私の夢は、幸せをいっぱいつくることです。

夢をあきらめずに追い続けることで、

生涯の人生を輝かせた伊能忠敬。伊能忠敬は

全国を測量したことで、日本の歴史に名を

刻みました。その歴史の1ページには、

私たちの篠山が記録されています。

今回は、「伊能忠敬と篠山」そのかけがえのない

つながりから学んだことをお伝えします。

伊能忠敬ってどんな人？

佐原(現在の千葉県香取市)で商業を営んでいた伊能忠敬は、50歳で家業を長男にゆずり、幼い頃から興味をもっていた天文学を学びに江戸(現在の東京)に出ました。55歳から73歳で亡くなるまでの間、約4万キロを歩いて測量。今と変わらないほど正確な地図を作りました。

江戸時代の頃、男性の平均寿命は50歳と言われていた時代ですが、「地球の大きさを知りたかった。測ってみたかった」と、ずっと抱えてきた夢を50歳からの第2の人生で追い続けました。数々の苦難を乗り越え、夢に向かって奮闘する生き方は、後世に伝えていきたい日本の心だと思えます。



人が好き まちが好き
街かど
Report

伊能忠敬像



測量体験や標柱除幕式には小学生や地域の皆さんが多数参加しました

歴史文化を次世代へ 伊能忠敬笹山領探索の会

「伊能忠敬笹山領探索の会」は、平成22年10月に丹波の森公苑で開催された「丹波学」で、伊能忠敬を学んだことをきっかけに結成。伊能忠敬の測量隊が測量した測量道をたどりながら、篠山を歩かれました。

小学校などへの出前授業も行われ、当時の測量体験を行うなど、子どもたちと郷土の生きた歴史文化にふれあいました。また、篠山測量2000年記念にあたる平成26年3月には篠山市民センターで「伊能忠敬ミニフロア展」を開催。篠山市の歴史街道には「伊能忠敬笹山領測量の道」と刻んだ標柱を12基設置するとともに、ガイドブックの制作など、ふるさと教育の一躍を担い、郷土



フロア一面に敷き込まれた伊能大図(伊能忠敬ミニフロア展)



「伊能忠敬笹山領探索の会」会長の加賀尾宏一さん



はたひろえ 焔弘恵さん(東新町)

の生きた歴史文化を後世へと伝えるべく熱心に活動に取り組まれています。

歴史街道に学び豊かな地域づくりへ

今年、伊能忠敬の没後200年。これを機に伊能忠敬・五国の足跡フォーラム in 笹山領が9月23日・24日篠山市内で開催されます。摂津、播磨、丹波、但馬、淡路の五国の県内各地における活動報告・意見交換会や、映画(伊能忠敬子午線の夢)の上映。標柱「伊能忠敬笹山領測量の道」をめぐるバスツアーも予定されています。

「伊能忠敬笹山領探索の会」会長の加賀尾宏一さんは「篠山の歴史ロマンにふれあう貴重なイベント。交流を広め、地域に残る歴史遺産を幅広い世代で深めてほしい。またそれらを活用し、ふるさとを愛する人材づくりと心豊かな地域づくりへとつながれば」と話されました。

ふるさと篠山を愛する人づくり

今回、伊能忠敬の偉業や人生を知ること、歴史のロマンと、夢をあきらめずに強く生きていくことのすばらしさを知りました。また、郷土の歴史や文化にふれることで子どもたちは地域への関心や愛着を深めてたのではないかと思います。

「伊能忠敬と篠山」このつながりは、夢を追うことの大切さと、ふるさと篠山を愛することができる人づくりへとつながり、地域の発展に寄与するものだと思えます。

さあ皆さん、死ぬまで人生楽しんで行きましょう！

標柱「伊能忠敬笹山領測量の道」をめぐるバスツアー

雨天決行

とき 9月24日(月・振休) 9:00~17:00

ところ 伊能忠敬笹山領測量街道筋12地区 (大山・味間・西紀南・西紀中・岡野・城南・集合・解散は篠山城跡駐車場 古市・今田・篠山城下・八上・日置・福住)

案内方法 12基のうち、東コース、西コースともに9基をマイクロバスで案内運行中道路事情により一部徒歩になります。

定員 50人(各コースとも25人定員) **参加費** 1人500円(当日徴収)

申込期間・方法 8月13日(月)から募集開始。各コース25人まで先着順。
※参加者名、生年月日、住所、電話番号、希望コース名をご記入のうえ下記住所へ往復ハガキでお申し込みください。
篠山市教育委員会文化財課 ☎552-5792
〒669-2397 篠山市北新町41

問い合わせ 伊能忠敬笹山領探索の会事務局 ☎552-2543

伊能忠敬・五国の足跡フォーラム

とき 9月23日(日・祝) **入場無料**

13:00~ あいさつ
13:10~ 映画上映 (伊能忠敬 一子午線の夢)
15:15

15:25~ 五国の県内各地における活動報告・意見交換
17:00

ところ 丹南健康福祉センター

交流会
(17:20~18:50)
※ご希望の方は、事前に伊能忠敬笹山領探索の会事務局までお問い合わせください。



測量日記に記録された草野村・赤井伊三郎 忠敬没後200年を記念に協力者子孫として、赤井公義さんに伊能忠敬研究会から感謝状が贈られました

1814(文化11)年2月3日(陽暦3月24日)~12日(陽暦4月2日)
【伊能忠敬測量日記 佐久間達夫】

日程/天気	宿泊(本陣・基本陣) 昼休宅
2月3日/晴	同所で昼休 喜藏、辰蔵 迫入村
2月4日/晴 午後曇	兵左衛門(昼休) 大沢村 庄屋 武兵衛、百姓 忠左衛門 北野新村
2月5日/曇	大庄屋 久下弥次(昼休) 木之部村 喜右衛門、又十郎 二階町
2月6日/昨夜雨 この日晴	忠右衛門(昼休) 犬飼村 栄三郎、幾之助、佐兵衛 古市村
2月7日/曇	庄屋 庄右衛門 市原村 年寄 太兵衛、肝煎 与一
2月8日/晴	伊三郎(昼休) 草野村
2月9日/曇また大雨	
2月10日/朝曇 10時頃より晴	栄三郎(昼休) 古市村 喜右衛門、又十郎 二階町
2月11日/曇	大庄屋 波部六兵衛(昼休) 八上新村 庄屋 山田喜右衛門、百姓 五郎兵衛 福住村
2月12日/曇また雨	

伊能忠敬測量日記から
伊能忠敬は1814年2月3日から12日までの10日間、笹山領内の街道を緻密に測量しています。残された記録によると毎日の人足手配は131人で、その測量距離は延べ6万4539歩に及びます。